



国立大学法人

群馬大学

GUNMA UNIVERSITY

GUIDE BOOK

2026



群を抜け 駆ける 世界を

INDEX

特集

GFL (Global Frontier Leader) 育成プログラム 4

キャンパス別ガイド

荒牧キャンパス 8

共同教育学部 10

共同教育学部在学生&卒業生インタビュー 12

情報学部 14

情報学部在学生&卒業生インタビュー 16

荒牧キャンパス施設紹介 18

昭和キャンパス 22

医学部医学科 24

医学部保健学科 26

医学部在学生&卒業生インタビュー 28

昭和キャンパス施設紹介 30

生体調節研究所 31

桐生キャンパス/太田キャンパス 32

理工学部 34

理工学部在学生&卒業生インタビュー 36

桐生キャンパス施設紹介 38

学生サポート体制/入試日程

学生寮紹介(養心寮/啓真寮) 40

学生サポート 42

海外留学/国際交流 44

オープンキャンパス 2025 / 広報大使/部活・サークル 45

入試情報 46

《群馬大学キャッチコピー》

「群を抜け 駆ける 世界を」

群馬大学で思いきり学び、経験し、地域から世界に飛び出していくという想いを込めた学生発案のキャッチコピーで、2018年から発信しています。

HISTORY OF GUNMA UNIVERSITY

群馬大学の歩み

- 1873 小学校教員伝習所(現共同教育学部)
- 1915 桐生高等染織学校(現理工学部)
- 1943 前橋医学専門学校(現医学部)
- 1948 前橋医科大学
- 1949 群馬師範学校、群馬青年師範学校、前橋医科大学、桐生工業専門学校の諸学校を包括し、それぞれ学芸学部、医学部および工学部からなる群馬大学が開学
- 1951 学芸学部附属小・中学校および幼稚園設置
- 1955 大学院医学研究科設置(現大学院医学系研究科)
- 1963 附置研究所として内分泌研究所設置(現生体調節研究所)
- 1964 大学院工学研究科設置(現大学院理工学部)
- 1966 学芸学部を教育学部に改組
- 1970 教育学部が荒牧キャンパスに移転
- 1979 教育学部に附属養護学校設置(現附属特別支援学校)
- 1981 教育学部に附属教育実践研究指導センター設置(現附属教育実践センター)
- 1990 大学院教育学研究科設置
- 1993 社会情報学部設置
- 1996 医学部に保健学科設置
- 1998 大学院社会情報学研究科設置
- 2004 国立大学法人化
- 2005 総合情報メディアセンター設置
重粒子線医学研究センター設置
- 2007 太田キャンパス発足
- 2008 教職大学院設置
ケイ素科学国際教育研究センター設置
社会情報学研究センター設置
- 2010 重粒子線治療開始
- 2011 大学院保健学研究科設置
- 2013 工学部を理工学部に改組
大学院工学研究科を大学院理工学部に改組
多職種連携教育研究研修センター(WHO 協力センター)設置
男女共同参画推進室設置
- 2014 未来先端研究機構設置
- 2015 元素科学国際教育研究センター設置
- 2016 次世代モビリティ社会実装研究センター設置
- 2017 数理データ科学教育研究センター設置
食健康科学教育研究センター設置
- 2020 教育学部を共同教育学部に改組
男女共同参画推進室をダイバーシティ推進センターに改組
- 2021 情報学部設置
- 2022 アドミッションセンター設置
- 2023 多職種人材育成のための医療安全教育センター設置
グローバルイニシアチブセンター設置
- 2024 大学院情報学研究科、パブリックヘルス学環、医理工レギュラトリーサイエンス学環設置
- 2025 食健康科学研究科設置



群馬大学英語文字「G」をモチーフに緑と青で豊かな自然環境を示し、学生の成長と活躍をイメージして、新しい未来の創造と、社会へ貢献する大学の存在感を表現しています。

県内へのアクセス

車の場合

- 練馬IC~前橋IC(関越自動車道) 約1時間10分
- 新潟IC~前橋IC(関越自動車道) 約2時間40分
- 長野IC~前橋IC(上信越自動車道) 約1時間40分
- 宇都宮IC~前橋IC(北関東自動車道) 約1時間30分

電車の場合

- 東京駅~高崎駅(JR上越・北陸新幹線) 約50分
- 新潟駅~高崎駅(JR上越新幹線) 約1時間10分
- 長野駅~高崎駅(JR北陸新幹線) 約40分

直通高速バスの場合

- 東京・池袋駅~前橋駅 約2時間30分
- 東京・新宿駅~前橋駅 約2時間30分
- 羽田空港/成田空港~前橋駅 約3時間30分



特集

グローバル フロンティアリーダー 育成プログラム



国際社会において活躍する 独創的なトップリーダーを育成するための特別選抜プログラム

多様な学びや文化体験、リーダーシップトレーニングを通じて、国内外場所を問わず、実社会で主体的に活躍できる人材を育成します。多くのイベントは学生自身が企画・準備します。この過程で、他学部の学生や教員、留学生、社会で活躍するリーダーなど、多様な人と接する機会が多くあり、世界を広げることができます。例えば、群馬の大自然に囲まれながらの「交流セミナー」や、「講演会」、グループワークやプレゼンテーションのスキルを向上させる「Global Awareness」など、通常の群大での生活に加え、GFL だけの充実した活動がたくさんあります。

G グローバル 〔身につく力〕コミュニケーション力、異文化共感力、グローバルマインドセット



オーストラリア ディーン大学留学

群馬大学が特に力を入れている「グローバル」。オーストラリア、ネパールなど GFL オリジナルの留学プログラムを準備しています。支援金や渡航サポートなど留学支援が充実しているのが特徴です。また、国際的な問題、SDGs をテーマに課題解決に取り組みます。英語でのプレゼンテーションやパブリックスピーキングを通して、自身のスキルの向上を目指します。



ネパール カトマンズ大学留学



模擬国連 各国の大使として交渉中



Global Awareness プログラム

F フロンティア 〔身につく力〕問題解決能力、企画力、探求力



理工学部早期研究室配属

自由な発想で考え、自ら企画するプロジェクトの実施を支援しています。学生自主企画は、毎年多くの活動が実施され、学部で身につける専門性をさらに高めるための調査・考察や、専門性を活かした社会貢献活動などが行われています。また、理工学部では早期研究室配属、企業訪問を実施。いち早く研究活動に取り組むことができます。



国際看護を現地で学びます

L リーダー 〔身につく力〕リーダーシップ、決断力、実行力



群馬県知事意見交換会

GFL のあらゆる活動は、活動ごとにリーダーとなり、自ら企画・運営します。自らリーダーとして企画・運営することでリーダーシップを身につけます。また、自治体や企業など、社会で活躍しているトップリーダーとのディスカッションも行っていて、リーダーの資質を学ぶことができます。



自らリーダーとなり活動！

どうすれば GFL 生になれるの？〔選抜方法〕

GFL 特別枠入試を受けて入る 方法と、入学後に応募・選考を受けて入る 方法の 2 通りがあります。

GFL 特別枠入試を受けて入る

11月 学校推薦型選抜
12月 合格発表

入学後に応募・選考を受けて入る

情報学部・理工学部では、入学時から GFL 生として活動できる特別枠入試を実施しています。もちろん入学後でも応募・選考の上、合格すると GFL 生として活動できます。

4～8月 GFL 活動開始
9月下旬 活動合流

4～6月 募集案内
6～9月下旬 応募選考
9月下旬 GFL 活動開始

- 学校推薦型選抜 GFL 特別枠入試は、11月に実施されています。入学時から GFL 活動に参加でき GFL 特別枠合格生限定的教育プログラムを実施しています。詳細は、本学ホームページの「入試案内」を参照ください。
- GFL 生は授業料免除（審査あり）、留学費用補助など経済面の支援を受けることができます。また修了時に「GFL 修了証」「GFL プログラムオープンバッジ」を発行します。



WE ARE GFL!

Members Voice

わたしたちと一緒にGFLになろう

『より濃密な大学生活の始まり』

きみも Global Frontier Leader になって
不確実性の高い時代を生き抜こう。
英語力向上やコミュニケーション能力向上、
GFLオリジナル留学プログラムなど
多くのイベントや挑戦するチャンスは
これでもかと用意されている。
きみの参加を心待ちにしているGFL生からの
VOICE を読んでみて欲しい。
きっと、GFL になりたくなるはずだ。



自信をもって英語を話
せるようになりました。
GFLで新しい自分に
出会ってみたいです。

教育・情報
GFL コース

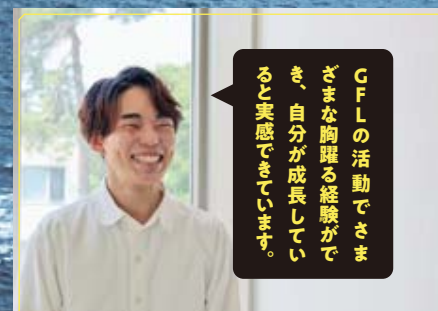
共同教育学部 数学専攻 3年
小平 玖音さん GFL2022年度生
群馬県立前橋女子高等学校 出身

『異文化や言語を知れるのが本当に楽しい』

私 が GFL に入ったのは、英語を生かして国際的な活動に挑戦したいという思いがあったからです。
GFLの活動には、生きた英語を学ぶ機会がたくさんあります。当初は英語のスピーキングに自信がありませんでしたが、オンライン留学に参加したり、留学生と一緒に文化祭で出店をしたりとさまざまな活動で英語を積極的に使うことで、今では自信をもって英語を話せるようになりました。
私は、GFLの活動の一環として留学生チューターを長期的に行っています。留学生のサポートをする中で、異文化や言語を知れるのはとても楽しいですし、何より留学生に感謝の言葉をもらった時にはやっていて良かったなと実感します。「英語が好き」「新しいことに挑戦したい」と考えている人には自分を成長させることのできる絶好の環境です。
国際的な活動を通して、新たな自分に出会ってみたいです。

『向上心の強い仲間たちと切磋琢磨しています』

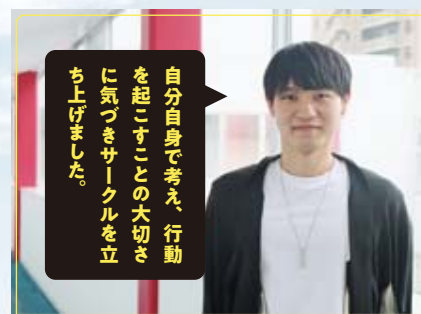
私 は GFLに参加することでかけがえのない仲間と出会い、一歩踏み出す勇気を手に入れることができました。特に私たちの学年の GFL生は横のつながりが強く、向上心の強い仲間たちと切磋琢磨できると感じています。学部学科の枠を超え、全員が主役として主体的に、責任感を持ってさまざまな企画に臨めるのは GFLならではの環境です。
留学や企画運営など、各々の GFL生の興味や強みは異なっています。だからこそ GFLで力を合わせることで、他では得られない活動とそれに伴う達成感を得られます。また、各々の興味に合わせた活動を大学が全面的に支援してくれるため、私たちは胸が躍る経験を味わい続けられています。さまざまな企画を経験することで私たちは成長し、さらに成長した姿を思い描いて活動ができています。GFLで得たリーダーシップを活かし、社会に貢献できる人になりたいと考えています。



GFLの活動でさまざまな胸躍る経験ができ、自分が成長していると実感できています。

教育・情報
GFL コース

情報学部 情報学科 2年
吉野 寛生さん GFL2023年度生
伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校 出身



自分自身で考え、行動
を起こすことの大切さ
に気づきサークルを立
ち上げました。

医・理・工
GFL コース

医学部 医学科 4年
玉置 諄さん GFL2021年度生
渋谷教育学部幕張高等学校 出身



県知事講演会でリー
ダーとして司会進行を
した経験から、たくさ
んのことを学びました。

医・理・工
GFL コース

医学部 保健科学理学療法専攻 2年
柳澤 通愛さん GFL2023年度生
群馬県立富岡高等学校 出身



早くに研究室に配属さ
れるので、興味のある
研究にひと足先に取り
組むことができます。

医・理・工
GFL コース

理工学部 物質・環境類 3年
今井 佳織さん GFL2022年度生
群馬県立渋川女子高等学校 出身

『異文化交流、体験を将来に生かしたいです』

G FLには必修の講義や行事も有りますが、そこから何を学べるか、何に生かすかは人それぞれです。
私の場合は、GFLの経験から留学生と交流をするサークルを作ることになりました。GFLではさまざまな国について学びます。しかし、制度や統計を学ぶことは出来ても、それだけでは十分なのではないか。その国のことを学ぶには、日常生活を知ることも不可欠なのではないかと思いました。
こういった考えのもとに、なるべく普通の日常を共有することを目的としたサークルを作りました。日常を共有することが文化交流であり、最も良い学びに繋がると考えたからです。そして現在、私は中国語の勉強を始めました。留学生が「異国で母国語を話してくれる存在が有難く、安心感を与えてくれる」と言っていたからです。
将来これらのことを生かし、異文化に理解があり、安心感を与えられるような医師になりたいと思っています。

『主体性が身につくのも魅力のひとつです』

私 は、今しかできない特別な経験を通して自分自身を成長させたい、という思いがあり、GFLに応募しました。
県知事講演会ではリーダーを務め、県庁の職員さんと先生方と話し合いを重ね、講演会の内容を決定しました。当日は司会進行を行い、知事と群馬県の未来についてディスカッションをしたり、知事の経験談をお聞きしたりすることで、多くの学びを得ることが出来ました。
現在は、医学部 English Cafeの副代表として運営をしており、留学生とのトークや英語でのプレゼンを通して、素敵な仲間とともに英語力アップを目指して活動しています。
GFLは「グローバル」な部分に注目されることが多いですが、私は数々の貴重な経験を通して「主体性」が身につくことも魅力の1つだと思っています。私たちと一緒に、周りとはひと味違った大学生活を送りませんか？

『GFLなら自分の可能性を広げられます』

私 は大学に入学したら、実践的な英語力やリーダーシップを身につけ、他学部との交流を深めるなど、さまざまな経験を積みたいと思い、学校推薦型選抜のGFL特別枠に応募しました。
GFLでは多様な活動があり、特に大連工業大学への短期留学と早期研究室配属が印象的でした。2年生の9月に大連工業大学を訪れ、おいしい料理や壮大な景色に感動したのはもちろん、異文化交流を通じて自分の視野を広げるきっかけになりました。
また、理工学部 GFL生は2年後期から研究室に配属され、早い段階から興味のある研究に取り組めます。研究成果を発表する場もあり、仲間たちと学び合う機会もあります。GFLプログラムを通じて自分自身の成長を実感しています。他学部の友人や学部内の先輩と積極的に関わり、日々新しい発見があります。
GFLプログラムを通して、自分の可能性を広げる一歩を踏み出してみませんか？

GFLの活動を紹介しています。ぜひご覧ください。

X
@GundaiG



Instagram
@gundai_gfl



GFL
ホームページ



ご不明点等ありましたらどうぞ
ご連絡なくお問い合わせください

✉ gfl-admin@ml.gunma-u.ac.jp

ARAMAKI Campus

荒牧キャンパス

共同教育学部・情報学部の全学生と
初年次教育を学ぶ医学部・理工学部の学生(1年次)が
通うキャンパスです。

※全学部1年次は荒牧キャンパスに通います



群馬県前橋市荒牧町4-2

電車でのアクセス

- JR 両毛線にて前橋駅下車、北方へ8km

バスでのアクセス

- JR 前橋駅北口2番乗り場(関越交通バス)
- 群馬大学荒牧校由渋川市内循環渋川駅行、小児医療センター行「群馬大学荒牧」下車(約28分)
- 渋川駅行、渋川市内循環渋川駅行「前橋自動車教習所前」下車(約25分+徒歩10分)

荒牧キャンパスへの
アクセスマップの詳細はこちら



荒牧キャンパス図



①課外活動施設



②キャリアサポート室



③1号館(大学教育・学生支援機構(学生センター))



④6号館(共同教育学部)



⑤10号館(情報学部)



⑥11号館(次世代モビリティ社会実装研究センター)



⑦総合メディアセンター(中央図書館/情報基盤部門)



⑧大学会館(多目的ホール・学生食堂・売店・アトリウムラウンジ)



共同教育学部



全国初の共同教育学部 群馬の教師教育の拠点

共同教育学部は、小学校、中学校、高等学校、幼稚園および特別支援学校等の教諭を目指す人が学ぶ学部です。小・中・高・幼・特別支援等の中から複数の教員免許状を取得できます。学校教育に対する多様な要求に対し、柔軟かつ効果的に応えられる高度な専門的知識・技術と豊かな人間性を身につけた教育者の養成を目的としています。1年次から4年次まで、学校現場に触れる教育実習関連科目を用意して、教育現場（附属学校園や公立学校）との交流を大切にしたい新しい教育課程を実施しています。

共同教育学部の4つの特徴

1

全国初！より高度な教員養成へ

群馬大学と宇都宮大学は、ますます高まる教員の資質能力向上への要請に応えるために、両大学の実験資源の相互活用をはじめとする緊密な連携・協力に基づいて共同教育学部を設置しました。学生は、自身が入学した大学に所属し、地域の国立大学としての魅力をフルに発揮する最新のカリキュラムに従って、自大学のキャンパスで学修していきます。

2

授業力が身につく充実した教育実習

他大学に比べて実習期間が長く、教育現場で実践的指導力を身につける時間を十分確保している点が特長です。
3年次の本実習期間には大学の通常授業は受講せず、実習終了後に授業を受講できるようカリキュラムを組んでいるため、実習と授業にそれぞれ集中することができます。

3

教職への入口 教員免許状を取得

所属する系・専攻ごとに定められた卒業要件を満たすことで、教員免許状を取得できます（特別支援教育専攻入学者は、入学してから履修コースを選びます）。
教員免許状は、大学での修得単位によって、1種免許状（学士）または2種免許状（短期大学士）を申請することになります。

4

きめ細やかな支援、高い教員就職率

教職就職者が多いのが特色です。そのため、学生支援委員会を中心に、3年次の前期から卒業まで、年間スケジュールに従ったきめ細やかな支援を行っています。その成果もあって、狭き門とされる教職にもかかわらず、群馬大学共同教育学部の就職者は多く、教職に強い大学として、全国的にも高い評価を得ています。



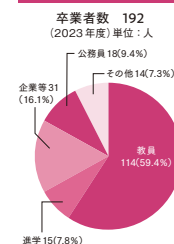
系	専攻	概要
人文社会系	●国語専攻 ●社会専攻 ●英語専攻	各教科の専門的知識や小学校・中学校の教科指導法について修得します。
自然科学系	●数学専攻 ●理科専攻 ●技術専攻	
芸術・生活・健康系	●音楽専攻 ●美術専攻 ●家政専攻 ●保健体育専攻	
教育人間科学系	●教育専攻 ●教育心理専攻	教育学・教育心理学の専門的知識や小学校の教科指導法について修得します。
	●特別支援教育専攻	特別支援教育の基礎理論、聴覚障害児、肢体不自由児、病弱児の心理・生理・病理や指導法、重複障害などについての専門的知識を修得します。

取得できる教員免許状

- 1種免許は基礎資格（免許状を取得するために必要な資格）が学士（大卒以上）で、2種免許は準学士（短大卒等）になります。1種免許は、2種免許より単位を多く修得しなければなりません。
- 公立の小・中・高・特別支援学校に採用されるには、各都道府県の教育委員会が実施する教員採用試験に合格する必要があります。本学部では、学生が教員採用試験に合格するように対策講座や面接指導などのきめ細やかな支援を行っています。

専攻	●国語専攻 ●社会専攻 ●英語専攻 ●数学専攻 ●理科専攻 ●技術専攻 ●音楽専攻 ●美術専攻 ●家政専攻 ●保健体育専攻	●教育専攻 ●教育心理専攻	●特別支援教育専攻	
			特1種・小2種コース	特1種・中2種コース
卒業時	●小学校1種 ●中学校2種（専攻教科）	●小学校1種 ●中学校2種（1教科）	●特別支援学校1種 ●小学校2種	●特別支援学校1種 ●中学校2種（1教科）
他に取得可能な免許	●中学校2種（他教科）又は特別支援学校2種 ●高等学校1種 ●幼稚園1・2種	●幼稚園1・2種 ●中学校1種（中学校2種と同じ教科） ●特別支援学校2種 ●高等学校1種	●小学校1種 ●中学校2種（1教科） ●幼稚園1・2種	●小学校2種 ●中学校1種（中学校2種と同じ教科） ●高等学校1種 ●幼稚園1・2種

卒業後の進路



●群馬県公立学校教員採用試験の校種別結果と占有率

2025年度採用	群馬共同教育学部		
	全合格者数	合格者数	占有率
小学校	182	36(6)	19.8%
中学校	187	76(12)	40.6%
特別支援学校	46	9(3)	19.6%
小計	415	121(21)	29.2%
高等学校	86	13(7)	15.1%
全合格者 合計	501	134(28)	26.7%

（ ）内は前年度で内数

●新卒者（大学院、専攻科を含む）の群馬県公立学校教員採用試験志願者と試験結果

年度	志願者数	一次試験合格者数	二次試験合格者数
2023年度採用	137	118	100
2024年度採用	124	106	86
2025年度採用	135	125	106

●主な就職先（2023年度）

群馬県内および各都道府県の教員（公立小・中学校、高等学校、特別支援学校、幼稚園、私立学校ほか）、地方公共団体（群馬県庁、前橋市役所、伊勢崎市役所、埼玉県庁ほか）、企業等（ベシア、群馬銀行、しのめ信用金庫、トヨタローラー群馬、三菱電機ビルソリューションズ、全国農業協同組合ほか）

共同教育学部在学中の学生に聞く！

VOICE

共同教育学部
特別支援教育専攻3年

塩野 結菜 さん
(群馬県立渋川女子高等学校 出身)

夢は、子どもの「自分でできる」を
応援する教師になること

物心ついた頃から障がい者支援にずっと興味がありました。保育園の同級生に障がいのある子がいて、その子は私たちと同じ小学校ではなく、特別支援学校に行くこと知ったのです。てっきりまた一緒に通えるのだと思ってただけに衝撃を受けた記憶があります。「障がいがある子たちは、私たちは違う学校に行かないといけないのか」と幼いながら思うところがあり、そこから障がいのある子たちの支援をしてみたいと思ったことがルーツだと思います。高校生になった頃には学校の先生にも憧れており、教師になる夢と障がい者支援のどちらも叶えられる特別支援学校の先生を目指すことにしました。

群馬大学の共同教育学部は、教育実習や教員採用試験の対策も手厚いことで知られています。また、特別支援学校教員免許の5領域（知的障がい、視覚障がい、聴覚障がい、肢体不自由、病弱）全てを取得できること、さらに雙学校教員に欠かすことのできない日本語の技術を学べるのが、群馬大学の特別支援教育専攻です。より専門性の高い教師になりたい私にとって最適な環境だと実感しています。

特に思い出深い講義は「日本語と日本語の違いを学ぶ」です。この講義では、1年次から日本語を文法から丁寧に学び、手話通訳の技術を身につけていきます。3年次には、実際に「福祉サービスの窓口」という場面を想定して手話通訳を行ったり、美術館に赴いて学芸員さんの解説を通訳したりしました。話す日本語との違いは難しく大変でしたが、日本語の奥深さを知り、とても充実していた講義でした。手話は手先だけでなく表情も大事で、眉の動きで疑問などを区別したり、目の開き方で文法が変わったり、上半身全体を使った会話です。難しいですが、身につければ一生モノのスキルだと思います。アルバイト先に来られた聴覚障がいの方を手話でご案内したこともありまし、教育現場に限らず



共同教育学部卒業生に聞く！

VOICE

勤務：熊谷市立三民小学校
教育学部 保健体育専攻
2022年度卒業

長沼 美歩 さん
(埼玉県立本庄高等学校 出身)

日々成長する子ども達と共に
教師の私も成長していきたい

体育教師になるのが夢でした。群馬大学の充実した実習環境が魅力的で、この大学なら夢を叶えられと確信し受験したことを覚えています。教育実習で小学生の天真爛漫な可愛らしさに触れ、体育以外の場面でも子ども達と長く深く関われるほうが自分に向いていると感じ、小学校の先生を目指すきっかけになりました。また、私が小学生の頃から続いていた器械体操ができる環境が整っていたことも群馬大学を選んだ理由の一つです。大学生になってからも目標に向かって、自分のペースで楽しく体操を続けることができました。先輩方と関東甲信越大学体育大会や六大学大会に出場して結果を残せたこともとても良い思い出、器械体操部は私の大学生活をより充実させてくれた大切な存在です。

群馬大学では、1年生の段階から実際の学校現場で生徒とふれあう経験が得られます。大学で指導法を学ぶことももちろん大切ですが、やはり肌で感じる経験に勝るものはありません。「先生」とはどんなものなのか、子ども達の様子はどうかと、現場でしか学べないことを早くから体感できることは大きな強みだと思います。3年生の本実習では、小学校と中学校の両方で長期間実習を行います。本実習は、これまでの講義で培ってきた力を試す場。思い通りにいかないことももちろんありますが、その経験が卒業後の教師生活や教員採用試験の際に大いに活かしました。恵まれた環境の中、貴重な時間を過ごせたことに今でも感謝しています。

保健体育専攻の同期は20名ほどで仲も良く、一緒に課題に取り組んだり、ご飯を食べに行ったり、体育の授業終わりに中庭でアイスを食べたりしたことも思い出深いです。同じ夢に向かっている仲間たちの存在は本当に心強く、教師になった今でも同期で集まって、スポーツを楽しんだり、仕事の相談や意見交換などを行っています。一生モノの出会いをこ

れからも大切にしていきたいです。

現在は、元気で素直な30人の子とも達がいる4年1組の担任をしています。実際に小学校の教師になってみると、専門教科以外も指導することの難しさを感じます。また、想像以上に学校行事が多いことや、学校の外からは見えにくいけど重要な仕事もありまし、児童のトラブル対応など、1日が24時間では足りないと感じる毎日です。

そんな毎日の中でも、子ども達の発言や行動から成長を感じて嬉しくなったり、休み時間にお話して癒されたり、「できた!」「分かった!」の瞬間に立ち会って心が温かくなったりと、「やっぱり教師っていいな」と感じています。「この子達のためにもっともっと良い指導、良い学級経営ができるように頑張ろう」と思えます。

今後はさらに効率よく仕事をこなして自分の心に余裕をつくり、子ども達1人1人より丁寧に関わりができるようになりたいと思います。どんなときも向上心を忘れては過ごしていきたいです。





情報学部



文理融合学部 充実したデータサイエンス教育

情報学部では、データサイエンス・計算機科学と、それらの分析対象である社会や人の理解という両側面からアプローチします。分析対象を知らずして技術だけを修得しても適切な分析は難しいですし、対象を理解するだけではそれらはゆくゆくAIなどに取って代わられてしまいます。これからの社会において両者のバランスが必須となります。分析手段と分析対象の双方がバランスよく学べる学部です。

情報学部の4つの特徴

1

文理融合

情報を基軸とした文理横断型の教育により、Society 5.0を支え、IoT、ビッグデータ、統計的解析手法等のスキルを持ち、人文科学、社会科学、自然科学の知識を有した人材を育成します。いわゆる「文科系」と「理科系」を単に併存させているわけではなく親和性のあるカリキュラムを構築しています。

2

融合型 PBL

人文・社会と自然科学の諸学を通じて全体を統括できるような視点を養うとともに、実社会の課題に対してデータサイエンスの知識を用いて検討し解決策を提案する能力を養います。文理融合の観点を取り入れて、人文情報又は社会共創プログラムの学生とデータサイエンス又は計算機科学プログラムの学生がグループを作って課題解決に取り組んでいます。

3

データサイエンス教育

社会全体から集められるビッグデータを解析し社会課題の解決につなげるのが情報学部でのデータサイエンスです。解析ツールの学習はもちろんですが、分析対象をきちんと把握するために文理融合の分野を学び、総合的な視野を身につけられるのがこの学部の大きな特徴です。

4

就業力・キャリア教育

在学中に学ぶべき授業科目や内容について、カリキュラムマップをもとに理解を深め、大学での学びが社会で求められる能力にどのように活かされるかを考え、自らのキャリアや将来像を構想するきっかけにもらうための科目「学びを構築する」をはじめ、さまざまなキャリア教育科目を開設しています。

●プログラム概念図



●入学試験について

大学入試共通テスト 前期・後期ともに文系でも理系でも受験できます

前期日程 数学・英語 両方または片方でも受験可能 後期日程 小論文 大学入学共通テスト重視型、小論文重視型が選択可能

※入試科目の詳細については、7 月公表の入学志願者に関する要項をご確認ください
※学校推薦型選抜も実施します

情報学部在学中に聞く！



VOICE

情報学部
計算機科学プログラム3年

齊藤 悠紀 さん
(岡山県立朝日高等学校 出身)

「少しの興味」は無限に広がる。
どう育てるかは自分次第

群大の雰囲気は派手さはないかもしれませんが、そこが自分にとって魅力的で居心地が良いです。緑に囲まれて木漏れ日の中で穏やかに過ごしたり、友人と学内を歩いているだけで気持ちが落ち着くキャンパスでとても気に入っています。自分のように、群馬県外から来ている学生もたくさんいて、北海道や青森、沖縄の友人もできました。全国から注目されている証拠ですし、地元出身者ばかりではないのだと心強く感じます。キャンパス周辺は暮らしに便利なお店も揃っているし、群馬で快適な一人暮らしを満喫しています。

文理融合を謳う情報学部では、興味あることを深めることも、新しい学びに出会うことも可能。そういう意味では、まだ将来何をしたいか迷っている人や、自分がまだ知らない世界に出会ってみたい人には本当におすすめしたい学部です。

自分自身、実は入学当初の興味が変化していった一人。プログラミングに興味があって当学部を選んだのですが、現在はUI (User Interface) の研究室に所属していて、認知心理学の分野を学んでいます。情報学部では実に広い視野を持って学ぶことができ、プログラミングに欠かさないコンピュータそのものや、それらを扱う人間心理、さらには日々進歩を続ける人工知能までを扱う、振り幅と質の良さが最大の特徴だと思います。日々面白いことに会う中で、もっと夢中になれるものが見つかりました。UI は分かりやすく言うところ「コンピュータをどう使いやすくするか」を考え、ユーザー目線で使いやすさを追求していきます。プログラミング技術を深めるよりも、多くの人々にとってコンピュータをより使いやすいものにする方法を考えることに面白さを見出しました。「これは白が良いのか、黒が良いのか」といった、単純で小さな問題に見える2択でも、選択によって使いやすさは全く違うものになるかもしれない。

人とコンピュータがこれからも手を取りあってより良い世界にしているためには大きな選択かもしれないと思うと、この分野に大いなる可能性を感じます。

今は、ある企業が開発中のディスプレイ製品にとっても興味を持っています。目に優しく、「動く魔法の絵を観ることができる」ような次世代型のディスプレイです。そんな魔法のような製品を作ろうとしている方と在学中に知り合うことができ、大学院に進学してこの製品の研究をする決めては夢中になっています。今やディスプレイは世の中に欠かせないものなので、この製品には将来性を感じています。製品を使用し評価して、商品化することで世の中に送り出すお手伝いができるならば、大学院の2年間を費やす価値があると確信しています。

情報学部は将来の選択肢が本当に幅広く、最初は少なかった興味も育てていきます。逆に、興味から別の興味へシフトもしやすいので、あなたが持つ「少しの興味」を大事にしてください。



情報学部卒業生に聞く！



VOICE

勤務：博報堂プロダクツ
社会情報学部 社会情報学科
2023 年度卒業

一場 穂乃佳 さん
(群馬県立前橋女子高等学校 出身)

大学の学びや経験で得たものは
すべて今に繋がっています

社会情報学部があったことが群馬大学を選んだ大きな理由です。高校生当時は心理学に興味があったのですが、扱う分野は文理融合で幅広いことを知り、学んでみたい好奇心を掻き立てられました。

また、GFL 育成プログラムで海外留学や国際交流などに取り組めることも魅力的でした。ずっと夢だった長期交換留学に行くことは入学時の目標の一つで、通常、留学は2年次に行くことが多いのですが、コロナ禍の影響で延期に。やっと叶はずだった留学がどうしても諦めきれずに相談したところ、先生方が留学に必要な調整や、アドバイスをしてください、大学3年次にイギリスへ留学することができました。私一人の力では叶わなかった夢の実現に力を貸して頂いて、心から感謝しています。ゼミの先生だけでなく、学生のやりたいことを後押しし、上手に導いてくださる方がたくさんいらっしゃり、恵まれた環境だったと思います。

学びの幅広さは想像以上で、心理学系はもちろん、SNSを活用する講義や、演劇の授業、苦手だと思い込んでいたプログラミングが意外と面白かったことは自分でも驚きでした。中でも記憶に残るのは、「プロジェクト科目」。実践型の授業で「コロナ禍でも遊園地で安心して楽しく遊べるようにするにはどのような工夫が必要か？」というテーマを議論し、チームで遊園地に提案に行きました。一連の作業は時間もかなり難しく感じましたが、やり終えた達成感や遊園地の職員の方々の「なるほど！」という反応にやりがいを感じました。

コロナ禍でサークルや部活に入る機会を逃してしまったという友人の話聞き、私の好きなテーマパークと一緒に楽しめるようなサークルを設立する経験もしました。ゼロから始めるのは想像以上に大変でしたが、たくさんのメンバーと好きなものをシェアできる楽しい時間を過ごせま

したし、今でもそのサークルは存続しています。「楽しかった」と言ってもらえたことで努力が報われました。やりたいことは全部やる精神でチャレンジして良かったです。

現在は総合制作事業会社でおまけやノベルティ・販売品などを製作する事業本部に所属しており、企画提案から生産管理まで一貫して行うプロデューサーとして仕事をしています。遊園地の課題解決を提案した経験や、サークル設立を通して体験した「誰かを楽しませるもの・ことをつくる」という点は、今の仕事に繋がっていると感じています。ただつづいて終わりではなく、それを手にする人を想像し、つくり出した先にある世界までも見据えていけるプロデューサーになれるよう勉強中です。

自然豊かで穏やかなキャンパスで、好きなものをとことん勉強して、好きなことに思いきりチャレンジできた経験は、今振り返ってもキラキラした時間だったと思います。受験勉強は辛いこともあるかもしれませんが、そんな時は大学を楽しんでいる自分を想像してみてください。想像できるならきっと大丈夫。群馬大学でたくさんの学びを得られますように。



facilities

多目的複合施設

1 大学会館アザレア



学食は週替わりなので飽きません！

大学会館の1階には、学食やレストラン、書籍や雑貨をそろえた生協の売店があります。2階には学生の交流の場として利用されているラウンジや、セミナーなどが開催されるミューズホール（多目的ホール）などがあり、日々学生でにぎわっています。



- 1 エントランス
- 2 アトリウムラウンジ
- 3 学生食堂
- 4 売店
- 5 多目的ホール

facilities
2

季節のイベントなども多数開催されます！

あらゆる学芸ニーズに応える“知”の集積施設

総合情報メディアセンター

（中央図書館／情報基盤部門）



総合情報メディアセンターには、図書館と情報基盤部門があり、教育や研究、社会貢献活動を支えています。図書館は各キャンパス（荒牧、昭和、桐生）にありますが、荒牧キャンパスの中央図書館では、学術書を中心に30万冊以上の図書を扱っており、雑誌等もあります。館内にはWi-Fi環境が整備されており、どこでも無線LANに接続でき、検索や学習を行うことができます。また、ラーニングコモンズ「アゴラ」というディスカッションしながら学習できるエリアや、定期的に展示物を替えるギャラリーも備えています。そのほか、学生の皆さんにおすすめの資料を展示しているコーナーもあります。情報基盤部門では、ネットワークの管理、各種ITサービスの提供を通じて、本学の情報化と情報セキュリティ体制の強化を進めています。荒牧、昭和、桐生の各キャンパスに、利用者対応のための職員が配置されています。

- 1 書架
- 2 《ギャラリー》学内外の機関と連携して、さまざまな企画展示を行っています
- 3 《ラーニングコモンズ「アゴラ」》数人で相談しながら学習できるスペースです
- 4 《閲覧室》一人用のキャビネットデスクもあります
- 5 《光直収ネットワーク》キャンパスのネットワークが安心して使えるよう、日々管理運営を行っています



無人車両を監視して
遠隔で操作する設備



facilities
3

完全自動運転など、次世代交通のための研究施設



次世代モビリティ社会実装研究センター (CRANTS)

次世代モビリティ社会実装研究センターは自動運転自動車をはじめとする未来の交通手段を研究するセンターです。建物の中には自動運転自動車を整備改造するための車両整備開発室をはじめとして、遠隔管制のための設備やシミュレーション室など、高度な設備が備え付けられており、多くの企業との共同研究を行っています。また、公的な研究機関としては国内最大規模の約 6,000m²の専用試験路が併設されており、さまざまな技術課題に対応した実験を行うことができます。



- 1 見学会の様子
- 2 超小型モビリティ
- 3 自動運転バス
- 4 公道での実験
- 5 シミュレーション室



facilities
4

Society5.0 を支える教育研究組織



数理データ科学教育研究センター

数理データ科学教育研究センターは、超スマート社会の基盤支援に向けて、データ科学の素養を持った人材の育成及び研究の推進を図ることを目的とした教育研究組織です。文部科学省が制定する数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度 MDASH に従い、分野横断的な思考力を持つ DX 人材の育成を行っています。このプログラムを修了した学生には、オープンバッジ (デジタルバッジ) を発行します。



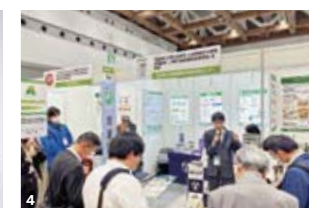
facilities
5

群馬の食は世界を目指す。群馬大学の新しい地域貢献のかたち



食健康科学教育研究センター

食健康科学教育研究センターは、「食と健康」に関わる研究の推進および専門人材の育成により、大学の教育研究および社会貢献活動等の向上に資するとともに、地方公共団体および地方産業界等と連携して、地域産業の振興および社会における健康増進に寄与することを目的とした教育研究組織です。



- 1 実験の様子
- 2 農林水産省関東農政局群馬拠点の報道関係者向け現地調査
- 3 群馬県農業技術センターとの研究連携に係る覚書を締結
- 4 アグリビジネス創出フェア出展時 (東京ビッグサイト) の様子



「食と健康」
商品開発の
「コンヤクビール」

SHOWA Campus

昭和キャンパス

医学部医学科、保健学科の学生が通うキャンパスです。医学部附属病院、生体調節研究所、重粒子線医学センターなどの医療や研究も整っています。



昭和キャンパス図



①基礎講義棟



②保健学科棟



③総合情報メディアセンター(医学図書館/情報基盤部門昭和分室)



④アメニティモール(コンビニ・レストラン等)



⑤重粒子線医学センター(重粒子線照射施設)



⑥生体調節研究所



⑦医学部附属病院



群馬県前橋市昭和町3-39-22

電車でのアクセス

- JR両毛線にて前橋駅下車、北方へ4km

バスでのアクセス

- JR前橋駅北口2番乗り場(閑越交通バス)
- 全線「群大病院入口」下車(⌚約13分+徒歩6分)
- 群大病院行・群大病院経由群馬大学荒牧行・群大病院・南橋団地 経由群馬大学荒牧行・群大病院経由南橋団地行「群大病院」下車 (⌚約15分)

昭和キャンパスへの
アクセスマップの詳細はこちら





医学部医学科



北関東を代表する国立大学医学部
北関東に広がる強力な関連医療機関ネットワーク

教養教育から専門基礎・臨床にわたる6年間のカリキュラムを通し、科学的知(Science)と倫理(Ethics)、技能(Skill)について広く学び、臨床・研究・行政・教育などさまざまな分野で「世界でも地域でも活躍できる医師」を育成しています。本学のカリキュラムは医学教育分野別評価においても国際基準に適合していることが認定されており、特に、医療の質・安全学については全国に先駆けて講座を設置し、医療安全教育・多職種連携教育の充実を図っています。

医学部医学科の4つの特徴

1

医療の質と安全に立脚した医師の養成

全国の医学部の中でも先駆けて「医療の質・安全学講座」を設置しており、安心・安全で質の高い医療を提供する人材の育成を目指しています。6年間を通した体系的で幅広いカリキュラムを提供し、さまざまなバックグラウンドを持つ患者さんやご家族の多様なニーズに対応できる医師としての力を身につけます。

2

地域医療枠制度

群馬県の地域医療に貢献したいという強い意思を持ち、これまでに250名を超える地域医療枠学生が群馬大学で学んでいます。地域医療マインドを培うため、「群馬県キャリア形成卒前支援プラン」に基づき、早期臨床体験実習や他大学との合同学習などの活動に参加します。自らが「地域で」学び、県内の医療情勢と課題について関心を深めます。

3

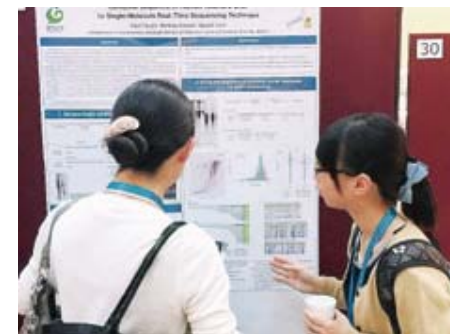
学生が参加できる MD-PhD コース

病気の予防や治療を目指して研究を行う研究医を目指す学生には、MD-PhD コースを用意しています。放課後や長期休暇を利用して研究活動に参加する方式をとっており、MD-PhD コースでの活動が認められれば、将来大学院に進学したときに通常より1年早く博士の学位を取得することが可能です。

4

豊富な実習施設

県内全域および県外の施設・病院の協力のもと、群馬大学医学部附属病院以外にさまざまな産業構造を持つ地域での実習を行っています。各実習協力施設とは定期的に意見交換をする場を設けており、より良い学びのために常に実習の改善、向上を図っています。



取得できる資格

医師国家試験受験資格

医学部医学科を卒業することが医師国家試験の受験資格となり、医師国家試験に合格すれば医師免許を取得できます。なお、医師免許取得後に診療行為を行う場合には、所定の2年間の医師臨床研修を修了していることが法律で義務付けられています。このため、卒業生の多くは、卒業後すぐに臨床研修病院での2年間の研修を行うことを選択しています。臨床研修修了後は、希望する分野の専門医資格の取得や、研究・大学院進学など、それぞれのキャリア・プランに応じて進路を決めていきます。

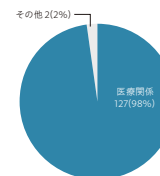
将来は、①主に患者さんの診療に携わる臨床医、②医学研究を行う研究医、③厚生労働省や保健所などで医療行政に携わる医師、④医学教育に携わる医師などとして社会で活躍することができます。

●新卒者の医師国家試験受験者数と合格者推移

	受験者数 (人)	合格者数 (人)	群馬大学合格率 (%)	全国合格率 (%)
2024	129	129	100	95.4
2023	130	122	93.8	94.9
2022	108	107	99.1	95

卒業後の進路

卒業者数 129
(2023年度実績) 単位: 人



●主な就職先 (2023年度卒業生実績)

- 【群馬県】** 群馬大学医学部附属病院、国立病院機構高崎総合医療センター、国立病院機構渋川医療センター、SUBARU健康保険組合太田記念病院、前橋赤十字病院、伊勢崎市民病院、群馬県済生会前橋病院、公立藤岡総合病院、利根中央病院、公立富岡総合病院、公立館林厚生病院 等
- 【東京都】** 東京大学医学部附属病院、東京科学大学病院、国立研究開発法人国立国際医療研究センター、国家公務員共済組合連合会立川病院、東京都健康長寿医療センター、聖路加国際病院、NTT東日本関東病院、東京山手メディカルセンター、公立学校共済組合関東中央病院、東京高輪病院、総合病院厚生中央病院 等
- 【埼玉県】** 国立病院機構埼玉病院、自治医科大学附属さいたま医療センター、獨協医科大学埼玉医療センター、埼玉医科大学総合医療センター、埼玉メディカルセンター、春日部市立医療センター、川口市立医療センター 等
- 【神奈川県】** 横浜国立大学附属病院、横浜国立大学附属市民総合医療センター、国立病院機構相模原病院、国家公務員共済組合連合会平塚共済病院、小田原市立病院、湘南鎌倉総合病院 等
- 【千葉県】** 千葉大学医学部附属病院、総合病院国保中央病院、成田赤十字病院、千葉労災病院、津田沼中央総合病院 等
- 【栃木県】** 自治医科大学附属病院 等



医学部保健学科



国際的保健学研究拠点／チーム医療教育
高度専門医療人育成／地域包括ケアの推進

保健学科では、①高度化・専門化する保健医療を担う人材、②地域完結型医療教育・研究を支える人材、③超少子高齢社会や国際社会で活躍する人材の養成、④チーム医療教育に力を入れています。看護学専攻では看護師、保健師、助産師を、検査技術科学専攻では臨床検査技師、細胞検査士を、理学療法学専攻では理学療法士を、作業療法学専攻では作業療法士を養成しています。どの専攻でも高い国家試験合格者を誇っています。また、卒業後は大学院への進学を奨励しています。

医学部保健学科の4つの特徴

1

グローバルに活躍する若手リーダーの育成

GFL(Global Frontier Leader)を毎年、保健学科から生み出しています。多角的な視点で国際理解を深め、世界を開拓する次世代のリーダーを育てます。ハワイ大学、ディーキン大学、モンゴル国立医科大学、ワシントン大学、フィリピン大学などへ留学や国際交流を行っています。

2

WHO協力センターの指定を受けたチーム医療

全人的医療を基盤として、医学、保健学、薬学など他専攻からなるチームを学生からつくりあげ、互いの価値観を理解しながら、チームビルディングを構築し、患者中心のチーム医療を学習していきます。群馬大学はWHO（世界保健機関）よりチーム医療における普及研究のための拠点として指定されています。

3

さらに研究力を育む大学院進学への道

専門科目でプロとしての知識・技術を取得するだけでなく、アカデミックライティングを学ぶ機会があります。博士号を取得し、先駆的、国際的な研究を行っている教員も多く、学生はこれらの教員の指導を受けて卒業研究で探求心を磨きます。そして、将来は大発見・発明を行う研究者の大学院進学への道が切り開かれています。

4

「あなた」を支えるチューター制度

学生一人ひとりに担当教員がいて、個別に相談できる「チューター制度」を設けています。チューターは入学時から卒業時まで、一貫して学生をサポートしています。単位取得、試験等の学習面、学生生活上の悩み事、留学、就職などあらゆる面で学生の力になります。



取得できる
国家試験受験資格
など

看護学専攻	●看護師 ●保健師コース（定員 40 名） ●助産師コース（定員 8 名）
検査技術科学専攻	●臨床検査技師 ●細胞検査士養成コース（定員 5 名程度）※
理学療法学専攻	●理学療法士
作業療法学専攻	●作業療法士

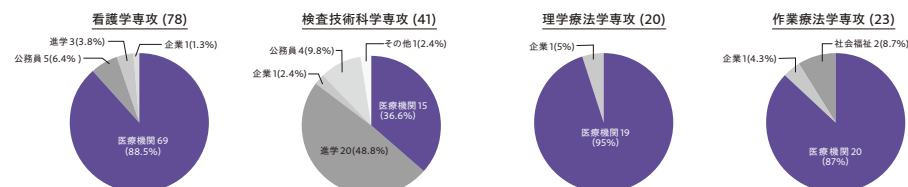
※日本臨床細胞学会の認定する専門資格

●全国新卒者合格率比較

専攻	国家試験種別	2024 年国家試験		2023 年国家試験		2022 年国家試験	
		群大合格率	全国合格率	群大合格率	全国合格率	群大合格率	全国合格率
看護学	看護師	100.0	93.2	97.4	95.5	100.0	93.0
	保健師	95.0	97.7	100.0	96.8	100.0	99.7
	助産師	100.0	99.3	100.0	95.9	100.0	96.5
検査技術科学	臨床検査技師	95.0	88.0	100.0	89.5	84.2	86.4
理学療法学	理学療法士	100.0	95.2	91.3	94.9	95.0	88.1
作業療法学	作業療法士	100.0	91.3	94.7	91.3	93.8	88.7

卒業後の進路

進路状況 卒業者数 162
(2023年度) 単位：人



●主な就職先（2023年度）

群馬大学医学部附属病院、自治医科大学附属病院、東北大学病院、前橋赤十字病院、済生会宇都宮病院、北里大学病院、福島県立医科大学附属病院、SUBARU 健康組合太田記念病院、信州大学医学部附属病院、富山大学附属病院、千葉大学医学部附属病院、九州大学病院、東京都立大塚病院、横浜市立大学附属病院、杏林大学医学部附属病院、聖マリアンナ医科大学病院、東京大学医学部附属病院、筑波大学附属病院、国立成育医療研究センター、虎ノ門病院、東京医科歯科大学病院、順天堂大学医学部附属練馬病院、群馬県、茨城県、伊勢崎市、所沢市、高崎市、東京都立病院機構、長野赤十字病院、小倉記念病院、浜松医科大学、北里メディカルセンター、横須賀共済病院、栃木県、入間市、角田病院、群馬県立心臓血管センター、前橋共立病院、善衆会病院、湘南鎌倉総合病院、群馬リハビリテーション病院、栃木県リハビリテーションセンター、老年病研究所附属病院、榛名荘病院、日高会

医学部在学生に聞く！



VOICE

医学部
保健学科
看護学専攻3年

林 実侑 さん
(新潟県立六日町高等学校 出身)

「その人らしさ」を大切に。
患者さんに寄り添う看護師になりたい

医療の世界には小学生の頃からずっと興味がありました。中学の職場体験で病院に行った際に、患者さんを一番近くで支え、寄り添っている看護師さんの姿がとても印象的で、その体験から将来の夢が看護師になりました。夢を叶えるべく進路選択では迷わず医療の道を選びました。群馬大学は、1年生の頃から病院や老人福祉施設、児童館での実習があり、早くから地域で暮らす人々との関わりの中で地域看護をより深く学ぶことができると感じています。また、助産師や保健師の資格が取得できるのも魅力的です。

附属病院があることで、学生が質の高い実習を行える環境を、常に整えてもらえることのありがたみは、群大に通うようになってから強く実感しています。学生には指導係の看護師さんが付き、看護指導やアドバイスをいただけます。自分で考えたケアを提案すると、先生や看護師さんも、やってごらんと背中を押してくれるので、教わるだけでなく自主的にチャレンジでき、学生もののびのと実習に取り組んでいます。もちろん実習だけでなく、講義や研究も充実しています。実際に医療現場で働いている方の講義も数多くあり、現場の生の声を聴く機会は非常に勉強になります。看護だけではなく、他専攻の方との合同授業もあり、医療をさまざまな視点から考えることで視野が広がりました。

医学部全体で学生同士の仲が良いのも自慢で、同学年はもちろん、先輩や後輩との繋がりも密でフレンドリー。その一人ひとりが自らの夢や目標に向かって志高く勉強に取り組み姿があって、日々良い刺激をもらっています。

入学時は地域看護に興味でしたが、現在は救急看護や災害看護の分野にも興味があります。病気を予防する医療はもちろん大切ですが、看護を学ぶうちに、人はどれだけ予防しても病気がけがを負うことはあるのだと考えるようになりました。だからこそ、早期からその人らしさを大切に

医学部卒業生に聞く！



VOICE

勤務：群馬大学医学部附属病院
産婦人科
医学部医学科
2019年度卒業

鈴木 美咲 さん
(埼玉県立熊谷女子高等学校 出身)

目指すのは「あなたに診てほしい」と信頼される医師

群馬大学医学部附属病院で産婦人科の専攻医として勤務しています。母と姉が看護師で、医療関係の仕事は常に身近にあったことや、自身が陸上競技を続けてきた中で親身に寄り添い支えてくださった整形外科の先生に憧れたことがきっかけで医師を志すようになりました。地元の医療に貢献したい気持ちはありますが、地元には国立大学の医学部がありません。都会よりも自然の方が好きな私は、都内の大学ではなく山々に囲まれた群馬を選んだわけですが、全てが程良く、落ち着いた日々を送ることができて、私にとってはぴったりの大学でした。

大学の学びで特に印象深いのは、解剖学の実習です。人体を内側から観察するという貴重な体験を通して、学生でありながらも「今まさに医療をやっているんだ」と身の引き締まる思いがしました。

また、群馬大学は1年次に全員が荒牧キャンパスに通い、属する学部の分野にとらわれず幅広い教養を身につける機会があるのも良い特徴ではないでしょうか。私はさまざまなコミュニケーションの授業を受けていました。医療は専門知識はもちろん必要ですが、患者さんや医療現場で共に働く人々とのコミュニケーションも不可欠です。話を聞くことも、伝えることも、何となく分かっていたつもりでしたが、授業の中で改めて勉強になることも多く、今でも思い出して心がけています。

勉学に励む一方、私は大学でも医学部陸上部に所属し、中高から取り組んできた中長距離走を続けることができました。4年生になる頃には趣味でトライアスロンを始め、全国各地で開催されるトライアスロンの大会にも出場しました。実習も続く中で時間的にも体力的にも大変ではありましたが、時にチューターの先生に相談させていただきながら、挑戦したいことを諦めることなく、悔いのない学生時代を謳歌することがで

きたと思います。学生の「挑戦したい気持ち」を応援してくれる大学の在り方にも感謝しています。

産婦人科では、妊婦さんや若年女性、ガン末期の方までさまざまな患者さんと関わりますが、皆さんライフステージも、置かれている状況や悩み事も全く異なります。信頼関係を築くためには医療のことだけを話すのではなく、常に患者さんの気持ちに寄り添う姿勢を大切にしています。今後さらに女性の産婦人科医は求められずし、私自身も増えていくと良いと思っています。自分がその一助になればという思いもあり、産婦人科を選びました。患者さんから「あなたに診てほしい」と言ってもらえるような医師になれるよう、医療技術やコミュニケーション力を磨いていきたいです。

群馬大学の先生方は尊敬できる方ばかりですし、学びの場が刺激的で充実しています。自らが経験したことはその後のキャリアで必ず役に立ちますので、ぜひ頑張ってください。



Facilities

1

安全・納得・信頼の医療を提供し次代を担う人間性豊かな医療人を育成する

医学部附属病院



医学部附属病院は、「大学病院としての使命を全うし、国民の健康と生活を守る」という理念の基に、大学病院の役割である先進的な医療の実践・開発・教育を推進し、皆さんが安全で健康な生活がおくれることを目的とします。診療については、群馬県で唯一の特定機能病院として地域医療に貢献するとともに、一般医療機関では行い難い高度医療を提供する医療機関として活動し、研究については、先進医療の開発を中心とした臨床研究を行い、教育については、医学部等の要請による臨床実習および卒業後の初期教育を主体としています。

病院には、外来診療棟をはじめ、各種の診療棟・病棟、アメニティモール等が整備されています。このほか、院内では、患者さんのために音楽コンサートの開催等を随時行っています。また、本学の卒業生でもある星野富弘氏の作品を、アメニティスペース尾瀬に常設展示しており、患者さんをはじめご家族や教職員の心を和ませています。



Facilities

2

日本初の大学併設型

重粒子線医学センター



重粒子線医学センターは、重粒子線（炭素イオン）を用いたがん治療施設です。重粒子線治療は、重粒子を光の70%のスピードに加速して照射し、体の深部のがんに強いダメージを与え、メスを使うことなく痛みを伴わずに、体内のがんを治療できます。

本学の治療装置は、群馬県との共同事業として建設に着手しました。日本で初めて大学病院に併設された施設として、2010年に治療を開始し、海外からも患者さんを受け入れています。



県内外の医療機関と連携して、高度で統合的ながん医療体制を構築するとともに、欧米やアジアの医療機関と活発に交流し、先進的重粒子線治療の国際拠点として、人材育成や共同研究を行っています。

学生の臨床実習にも活用され、施設見学会では、多くの市民にご参加いただいています。

世界中から視察が絶えない
医療界でも注目の施設です！



生体調節研究所



世界をリードする内分泌・代謝学の研究拠点

生体調節研究所とは？

生体調節研究所は1994年に、前身である内分泌研究所（1963年に設置）が改組され、誕生しました。内分泌研究所が開設された当時は、群馬県内において海藻の摂取不足による甲状腺疾患の方が多かったため、甲状腺ホルモンの異常に起因する疾患の研究を行っていました。ホルモンとは甲状腺や臓腑などの特定の器官で作られ、体内を循環して血糖値や代謝などさまざまな生理現象を調節する生理活性物質のことです。その後、内分泌ホルモンやサイトカインなどの生理活性物質の作用や代謝の仕組みをより広い観点から理解するために、現在の生体調節研究所へと生まれ変わりました。改組後は、近年社会問題化している糖尿病、脂質異常症、肥満症、がんなどといった生活習慣病が内分泌・代謝系の異常により発症することから、これらの病因や病態の解明を中心に研究に取り組んでいます。

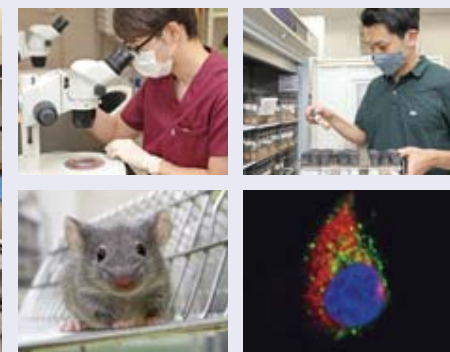
生体調節研究所では何を研究しているのか？

生体調節研究所では、臓腑で作られ血糖値の調節に働くインスリンやグルカゴン等といった内分泌ホルモンの研究に加え、最近注目を浴びつつある脂肪細胞の研究も行っています。また、最先端のゲノム編集技術を駆使した新たな代謝制御法やエピゲノム改変法等の開発も行っています。さらに、さまざまなモデル生物を用いて生体恒常性を維持する普遍的な分子メカニズムの解明にも取り組んでいます。最近では、「食事と肥満」、「肥満と腸内細菌」、そして「iPS細胞等を用いたヒト臓腑再生」などの最先端研究も開始しています。

生体調節研究所で学ぶには？

医学部医学科に入学後、MD-PhDコースを選択します。他学部からの研究参加も可能です。

大学院では修士課程や博士課程の学生として研究ができます。



KIRYU Campus

桐生キャンパス

理工学部が2年次から学ぶキャンパスです。
分野横断的な教育を強化し、
IoT技術や持続可能な社会に向けた
課題解決ができる人材を育成します。



群馬県桐生市天神町1-5-1

電車でのアクセス

- JR両毛線にて桐生駅下車、北方へ約2.5km
- 東武桐生線にて新桐生駅下車、北方へ約4.1km

バスでのアクセス

- JR両毛線 桐生駅 北口乗り場(おりひめバス)
- 中央幹線(群大系統)・梅田線
「群馬大学桐生正門前」下車(〇約7分)
- 菱線「群馬大学桐生東門前」下車(〇約7分～20分 ※乗車する曜日・系統によって異なります)
- 東武 新桐生駅乗り場(おりひめバス)
- 中央幹線(群大系統)「群馬大学桐生正門前」下車(〇約20分)

桐生キャンパスへの
アクセスマップの詳細はこちら



桐生キャンパス図



③総合研究棟



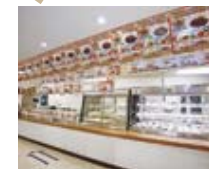
①同意記念会館(理工学部の前身・旧桐生高等染織学校舎の一部、登録有形文化財)



②総合情報メディアセンター(理工学図書館/情報基盤部門桐生分室)



⑤工学部会館(売店)



④工学部会館(学生食堂)

太田キャンパス

太田市にも理工学部のキャンパスがあり、産学連携とリカレント教育の拠点として研究等が行われています。



群馬県太田市本町29-1

- 東武鉄道太田駅北口下車、徒歩〇約10分(市立太田小学校となり)
- 北関東自動車道 太田桐生ICから〇約10分



理工学部



分野を超えた幅広い学びで社会に求められる人材へ 企業と連携した問題解決型授業で実践力が身につく

群馬大学理工学部は創立100周年を超え、今まで多くの有名な技術者・研究者を輩出してきました。持続可能な社会や Society5.0を支える科学技術を幅広く学ぶことを通じて、今後大きく変わっていく産業構造に対応し、社会で活躍できる実践力をもった人材の育成を目指しています。

理工学部は今まで高い進学率を誇っている他、就職率も高く、多くの学生が一部上場企業へ就職しています。また、在学生の4人に1人は女子学生という女子学生の比率が高いのも特徴で、卒業後は女性研究者・技術者として活躍しています。

理工学部の4つの特徴

1

可能性を広げる2類8プログラム

入学後はまず「類」に所属し、教養教育、理学系基礎科目、類基礎科目などを通して幅広い知識を身につけます。2年次後期以降、自分の適性を考えながら「プログラム」を選択できます。

理学的知識・感覚と、工学的応用力・発想力に加入、従来の「分野の枠」とらわれない俯瞰的視野を身につけます。

2

学生の能力を引き出す教育

学会等で毎年多数の学生が賞を受賞しています。また、教養科目や専門科目だけでなく、地元企業と連携したPBL（問題解決型授業）により、社会で求められる実践的課題解決力を養成しています。

3

高い就職率・進学率

就職希望者の就職率は毎年ほぼ100%!学部卒業生・大学院修了生とともに研究職や大手企業等への内定をつかんでいます。教職員はもちろん、キャリアカウンセラーや同窓会組織が就職をサポートします!また、学部卒業生のうち60%以上が大学院に進学し、より専門的な研究を行っています。

4

高度で多様な研究

約150名の教員が所属する理工学部では、多様な分野で最先端の研究が行われています。新聞やテレビ等で取り上げられたあの研究も、実は群馬大学発だった!?研究論文は英国の科学誌 Nature をはじめ、さまざまな科学誌で取り上げられています。

《類・プログラム紹介》

入試は類別で行います。1年次は全員で理学系基礎科目等を、2年次は類別で類基礎科目を学びます。その後、2年次後期〜3年次に学びたいプログラムを選択します。

●物質・環境類

持続可能な社会を支えるための基礎となる化学・生物・物理を融合した科学技術について、幅広く学べます。

《応用化学プログラム》

物質科学と生命科学から
持続可能な社会の基礎を生み出す

物質の合成・構造・性質に関する分野や遺伝子、生命科学分野について学びます。

●卒業後の進路
▷大学院進学 ▷化学系企業 ▷食品・化粧品系企業 ▷医療・製薬系企業 ▷材料系企業

《食品工学プログラム》

食品生産工学・食品科学の
プロフェッショナルを目指す

食品機能を科学的に理解するとともに、食品の創出に関わる生産工学を学びます。

●卒業後の進路
▷大学院進学 ▷食品系企業 ▷エンジニアリング系企業 ▷材料系企業 ▷化学・化粧品系企業

《材料科学プログラム》

あらゆる材料を網羅した
総合型材料開発を目指す

物質科学ならびに金属工学を基礎として、材料開発に関する基礎から最先端の知識と技術を体系的に幅広く学びます。

●卒業後の進路
▷大学院進学 ▷化学・材料系企業 ▷電機・電子系企業 ▷自動車系企業 ▷機械・精密機器系企業 ▷医療機器系企業

《化学システム工学プログラム》

スマート社会を実現するデバイス、装置、
プロセスの開発を目指す

物質・エネルギーを無駄なく、クリーンに利用・生産するための知識と技術を学びます。

●卒業後の進路
▷大学院進学 ▷化学系企業 ▷エンジニアリング系企業 ▷エネルギー系企業 ▷材料系企業

《土壌環境プログラム》※

自然環境との調和を図り、
国民の安全を守る

自然災害からの防御や社会的・経済的基盤の計画・整備・維持管理のための技術を学びます。

●卒業後の進路
▷大学院進学 ▷公務員（土木職）▷建設・防災・環境系企業 ▷社会インフラ企業（鉄道・道路・ライフライン等）

※土壌環境プログラムと機械プログラムはJABEE（日本技術者教育認定機構）認定のプログラムです

●電子・機械類

Society5.0を支えるIoTやロボットなど物理・数学を基礎とした科学技術について、幅広く学べます。

《機械プログラム》※

エネルギー・材料加工などの幅広い技術を
身につけ、世界に通用する技術者の育成を目指す

エネルギー変換技術や材料加工技術、機械・材料・熱・流体力学技術について学びます。

●卒業後の進路
▷大学院進学 ▷自動車・輸送機器・一般機械の製造企業 ▷精密・光学・情報・医療機器製造企業 ▷自動車・輸送機器、一般機械製造企業

《知能制御プログラム》

超スマート社会を
創造する

超スマート社会を創造する知能化メカトロ制御技術、IoTによるエネルギー制御技術について学びます。

●卒業後の進路
▷大学院進学 ▷精密機器・精密加工系企業 ▷メカトロ・機電系企業 ▷医療機器関連企業 ▷自動車・輸送機器、一般機械製造企業

《電子情報通信プログラム》

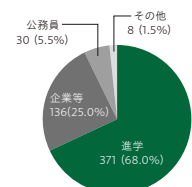
電気電子工学の
プロフェッショナルを目指す

最先端のデバイス、量子ビット技術、通信技術、IoTシステムなどの、モノづくりにかかる情報技術やAI技術について学びます。

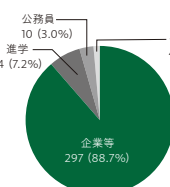
●卒業後の進路
▷大学院進学 ▷電子部品・電気機器製造業 ▷情報通信システム ▷自動車・一般機械製造企業

卒業後の進路 <2023年度>

学部卒業業者数545 単位：人



大学院博士前期課程
修了者数335 単位：人



●主な就職先（2023年度・大学院博士前期課程修了者の就職先を含む）

《物質・環境類》アキレス、いすゞ自動車、SMC、沖電気工業、花王、鹿島建設、クラレ、SUBARU、住友電気工業、大成建設、太陽誘電、TDK、DIC、東京電力HD、東洋インキSCHD、TOPPAN、ニチアス、日産化学、日清製粉ウェルノ、日清紡HD、日東電工、日本航空、日本製鉄、東日本旅客鉄道、フジクラ、ポッシュ、三井化学、三菱自動車工業、ミネベアミツミ、明電舎、雪印メグミルク、ライオン、ルネサスエレクトロニクス、レノバック、経済産業省、国土交通省、農林水産省、茨城県、群馬県、静岡県、栃木県、宇都宮市、熊谷市、さいたま市、高崎市、新崎市、前橋市

《電子・機械類》伊藤忠テクノソリューションズ、今治造船、荏原製作所、沖電気工業、神戸製鋼所、信越化学工業、スズキ、SUBARU、住友重機工業、セイコーエプソン、積水化学工業、太陽誘電、高砂熱学工業、TDK、東京エレクトロン、東京電力HD、トヨタ自動車、中日本高速道路、ニコン、日産自動車、東日本高速道路、日立Astemo、富士電機、ポッシュ、本田技研工業、ミツバ、三菱電機、ミネベアミツミ、村田製作所、ルネサスエレクトロニクス、国土交通省、経済産業省、群馬県、埼玉県、栃木県、大阪府

※企業は50音順に掲載しています。 ※旧学部体制の進路データ・就職先を類に換算しています。



理工学部在學生に聞く！

VOICE

理工学部
電子・機械類
機械プログラム4年

佐藤 凜歩 さん
(群馬県立前橋東高等学校 出身)

「迷ったらやってみる」をモットーに。
挑戦し続けた4年間

航空機や鉄道といった乗り物が好きで、機械工学を学べる地元の大学として群大の理工学部を選びました。また、私には「広い視野を獲得したい」という人生の大きな目標があります。群大では1年生の頃に文理問わず幅広い講義を受けられ、地域貢献となる活動も盛んなことから、自分の興味ある分野のみにとらわれず、さまざまな経験をしながらより広い視野で物事を見ていく力が身につけられると感じました。私は「迷ったらとりあえずやってみる」をモットーに、持ち前のフットワークの軽さを活かして学業以外の活動にも挑戦を続けてきました。

サークル活動は、「学生フォーミュラ」に所属しました。1年間をかけてフォーミュラカーを学生自ら設計、製作、走行を行い、さらに製作に必要な資金集めも行っているベンチャー企業のようなサークルです。サークルの代表も務め、車両製作だけでなく、スポンサーの会社様への訪問や書類づくり、チーム運営などのマネジメントにも携わりました。学生フォーミュラ大会のプレゼンテーション審査では80チーム中4位、7位という好成績を残すこともでき、大変だけど努力が報われて嬉しかった瞬間です。

理工学部が行っている取り組みの一つであるマイスター育成プログラムにも参加していました。研究室に所属する前から、分析機器などの原理を学んで研究・開発・地域貢献に活かせる即戦力の人材を育成するものです。3年生になると、企業や研究室からの依頼分析も引き受け、貴重な経験を積ませていただきました。他にも学園祭の実行委員や桐生市民との懇談会に出席したり、講義の字幕付けの学内アルバイトまで、自分にできることで少しでも興味があれば飛び込んだ4年間は本当に充実してあっという間です。

1年生から3年生にかけては、機械工学を中心に学んできましたが、現在は「流体理工学研究室」に所属しています。機械系を選ばなかったのは、よ



理工学部卒業生に聞く！

VOICE

勤務：国土交通省 関東地方整備局
渡良瀬川河川事務所
工学部・社会環境デザイン工学科
2013年度卒業
大学院理工学部博士前期課程・
環境創生理工学教育プログラム
2015年度修了

金井 翔平 さん
(群馬県立伊勢崎高等学校 出身)

地域住民を災害から守ると共に、
河川環境の保全に取り組んでいます

土木に興味を持ったきっかけは、2004年の新潟県中越地震の被害をニュースで目にしたことです。自然災害とどう向き合えば良いのかを将来勉強したいと考えるようになり、群馬大学の社会環境デザイン工学科であれば、防災のあらゆることを学べると思い、受験しました。高校生の頃は、まだ具体的にになりたい職業までは決まっていませんでしたが、当学部の就職の強さも非常に魅力的でした。大学で土木や災害の対策を学びながら自身の将来をじっくりと考えることに決めました。

大学で学ぶ中で、自然災害等が起きる前に土木構造物がどのように維持管理されているかを勉強したいと思い、構造研究室の配属を希望しました。構造研究室では、『構造物を壊すことなく健全度を評価するための非破壊検査』に関する研究を行っていました。やりがいはいりましたが、大変な研究でした。先生の丁寧なご指導のおかげもあって、学会で発表する機会も頂いたことに、今でも感謝しています。

研究室では、「課題を解決するためにどうすれば良いか」ということを先生と研究生が丸となり真剣に向き合いました。高校までは各々が自身の目標のために勉強していたイメージですが、大学は研究テーマの違いはあっても皆で議論しながら学ぶことが醍醐味であり、大きな違いの一つだと思います。人とコミュニケーションを取りながら何かをすることは、人生においてずっと必要であり大切なことです。時にはお互いヒートアップしてしまうこともありましたが、それはお互いが真剣に向き合ったからです。研究室で過ごした日々は、私の人生の糧となっています。

私が就職した国土交通省関東地方整備局は、関東一都八県のエリアを管轄する国土交通省の地方支部局です。河川や道路などの社会資本の整備や維持管理を通じて、人々の安全・安心と生き生きとした暮らしをサポート

トしています。現在は、群馬県桐生市や栃木県足利市などを流れる渡良瀬川の河川管理者として、堤防の必要な高さや幅が不足している箇所の築堤（堤防の嵩上げ・拡幅）や維持管理工事の監督などを行っています。また、河川環境や利用に関する業務も担当しています。2024年12月にオープンした観光交流施設「わたらせりバーブラザ」（栃木県足利市）は、国で造成したスペースを利用しており、官民一体となって整備を行ったところです。人が利用する場所でない、川にごみが捨てられたり、異常の発見が遅れたりします。災害から人を守ることは当然ですが、川との共存も大切であり、国としても川を適正に利用してもらう取組を進めています。災害対策を進める上でも河川環境の保全は不可欠であり、そのような整備を考えることは難しいですが、楽しいです。

就職してからも学ばなければならないことが多くありますが、大学では、その「学ぶ力」を身につけられると思っています。私もそうでしたが、漠然とした夢しなくても、いろいろな選択肢が見つけられると思いますので、ぜひ群馬大学に入学し、実現したい夢を見つけていただければと思います。



facilities

1

最先端の研究を推進する多種多様な先端分析器を揃える基幹施設

機器分析センター

大学に行ったら、「まだ世界の誰も知らない発見をしたいな」とか「自然環境にやさしく、我々の生活が豊かになるような新しいものを開発したいな」といった夢があると思います。このような夢を叶える大事なものって何だろうと考えた時、3つぐらいが思いつきます。1つ目は皆さん自身のがんばり、2つ目は頼りになる先生・友人・家族、そして3つ目は「研究に必要な先端分析装置」です。現代の研究は、ナノメートルのものをしたり、目では見えないものを評価したり、短時間で100種類の化学物質を決定するなど、非常に難しいことが要求される時代です。

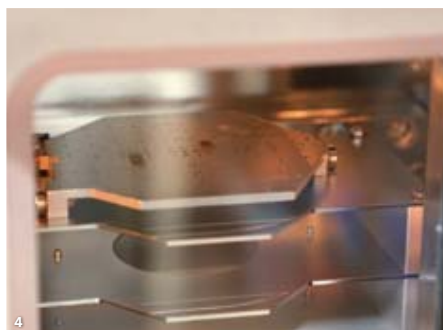
このような要求に応えることができる先端分析装置を扱うところが機器分析センターです。理工学部には150名ほどの教員がありますが、その中の約80名の教員が、そして400名ほどの学生が機器分析センターを利用して、夢の実現を目指しています。

また、機器分析センターでは、2・3年生を対象に、先端分析装置を用いて、分析に関する本質的な理解・高い技術力・実務経験を有した即戦力学生を育成する「マイスター育成プログラム」も実施しています。

通常、分析機器を使うことができるのは4年生が大学院に進学してからです。でも、マイスター育成プログラムでは2年生から分析機器を使います。



マイスター育成プログラムの紹介



- 1 機器分析センター入口
- 2 溶液核磁気共鳴装置
- 3 電界放出形走査電子顕微鏡
- 4 X線光電子分光分析の内部

facilities

2

アイデアをカタチにする工作・製作拠点

マシンショップ

マシンショップ（機械工作室）は、理工学部の学生の工作実習や実験装置の製作などのサポートを行っている施設です。

学生の皆さんは授業や研究を通して、いろいろな機械に接します。いろいろな分野の学生が多種多様な機械の使い方を学ぶことによって、機械工作に関する知識を養っていきます。機械の使い方についても、専門のスタッフが常駐しており安全な使用方法を詳しく学ぶことができます。学生向けの講習会も多数開催していますので、日々たくさんの学生が機械工作を学ぶためにマシンショップを利用しています。

簡単な加工から複雑な加工まで、幅広い加工に対応できる機械と技術スタッフがいます！



facilities

3

理工学専門知識・情報の集積基地

総合情報メディアセンター

（理工学図書館／情報基盤部門）

図書館は、各キャンパス（荒牧、昭和、桐生）にあります。桐生キャンパスの理工学図書館では、特に理工学専門書の収集に力を入れており、理工学専門書だけでも11万冊以上の図書や雑誌を提供しています。また、ここ数年は、自宅からもアクセスできる電子ブックの導入を進めており、紙の図書に限らず理工学専門書の充実を図っています。

館内には、開放的な空間の中で友達と話し合いながら学習できるラーニング commons や、個人で勉強できる閲覧室のほか、学修室というグループでの学習に利用できる個室や、クワイエットスタディゾーンという雑音なしで勉強に集中できる部屋も備えています。



豊富な資料が
とっても魅力的！

- 1 学修室
- 2 ラーニング commons
- 3 電動集書架



1

2

3

※原則として通学に2時間以上かかることが入寮申請の条件となります

養心寮 | 共同教育学部・情報学部・医学部の全学年、理工学部の1年生

収容人員	部屋タイプ	寄宿料(月額)	諸経費	居室設備
男子 74室 女子 62室	個室 約9㎡	4,300円	自治会費(年額) 4,800円 光熱水費(月額) 約8,000円	エアコン インターネット端子 TVアンテナ端子

イベントたくさん 学生らが運営する自治寮



■ イベントを通じて友だちに

養心寮ではさまざまなイベントを開催しています。今年は、スポーツ大会・後夜祭を行いました。スポーツ大会では、普段関わりのない寮生と同じチームとして戦うことで団結力が生まれ、仲間が増えたり、普段とは違う一面がみられる寮生もいて、新たな発見もありました。後夜祭では、ビンゴ大会やミニゲームを行い、豪華賞品をゲットするため、必死になる寮生の姿は忘れられません。このようなイベント後は、すれ違ったら会話をしたり、一緒に遊びに行く友達になったりする貴重な機会となっています。

■ 100名が入寮



群馬大学養心寮は自治寮といい、皆さんが通常想像しているような寮母さん(管理人)が常駐する寮とは異なり、学生自身が寮の運営に深く関わっている少し変わった運営方針をとっています。大学側からの制約はありますが、学生同士が守るべきルールを決めているため、他の学生寮に比べて自由なことが多いのが養心寮の魅力です。現在、100名を超える学生が入寮しており、毎日楽しく過ごしています。また、個室が与えられているので、友達と遊ぶことも一人になる時間も作ることができます。部屋が近いと学部、学年が違っても仲良くになれるので、交友の幅が広がります。自由なことが多い反面、それに伴う責任もあります。毎週月曜日夜にあるブロック会議には必ず出席することや、共用で使用する風呂・トイレ・捕食室は、当番制で掃除を担当しています。

養心寮は一人暮らしよりも圧倒的に安く、さらに友達との距離

も近くなるため楽しいことしかないように思えますが、決められたことが出来なかった場合は、反省文を書くことがあります。入寮して楽しい思い出を作るためにも、しっかりと考えてからぜひ、養心寮へ入寮してみてくださいか？

■ 寮長の役割

養心寮生は、みんなそれぞれ個性豊かであり、みんなで意見を出し合う場で、その意見をまとめるのは非常に大変です。寮生全員の意見が一致することが少なく、意見をまとめることや、その仲介役となるのは、寮長の役目となります。みんなの意見を聞き、それぞれが納得するような結果をまとめることが大変であり、悩みとなっています。

■ 地域と交流も

養心寮生は、共に生活を支え合う「仲間」であると言えるでしょう。だから、一般的な寮生活とは少し異なるかもしれません。自治を維持するためには、寮敷地内の草刈りや落ち葉拾いや廃品回収など、自治や地域の活動への参加が必要です。面倒くさいと思うかもしれませんが、寮生同士や地域の人々との交流を深めることができ、寮生活ならではの経験を得ることができます。これは一人暮らしではなかなか得られない体験かもしれません。養心寮に興味があるなら、ぜひ群馬大学を選択肢に加えてみてください。



スポーツ大会でワイワイ



地域活動も積極的に

啓真寮 | 理工学部2年生以上

収容人員	部屋タイプ	寄宿料(月額)	諸経費	居室設備
男子 65室 女子 24室 (変動あり)	個室【ワンルーム型】 約19㎡ 35室	25,000円	クリーニング代(入寮時) 25,000円 共益費(月額) 1,500円	エアコン/インターネット端子/TVアンテナ端子/ミニキッチン/IHコンロ/ユニットバス/独立トイレ/室内物干し
	個室【シェア型】 約18㎡ 54室	15,000円	クリーニング代(入寮時) 15,000円 共益費(月額) 1,500円	エアコン/インターネット端子/TVアンテナ端子/室内物干し

リラックスできる場所 自然と友だちに



■ 管理人さんがいて安心

啓真寮は桐生の理工学部の学生の寮で、キャンパスも近く、安価で通学のストレスも無い、フロアで男女が分かれていて女子のフロアは男子禁制なので安心です。一人暮らしタイプの個室とキッチンなどが共用のシェア型に分かれています。シェア型はキッチンやお風呂などが共用ですが、食事は自炊の人もいれば、外食の人もいて、それぞれの生活リズムで暮らしやすいのではないのでしょうか。寮には管理人さんがいるため、洗濯機の調子が悪いとか、困ったときには相談できるのが心強いです。出かける時などに声を掛けていただいたりするのは寮ならではのですね。門限も無いので部活動や研究で遅くても大丈夫です。

■ 快適な共同生活のためには



寮長は学生が担当し、先輩から後輩へ引き継がれます。それほど役割が多いわけではなく、比較的緩いんです。共用部分を気持ちよくみんなで使えるように少し気を配ったり、避難訓練でアナウンスしたりしました。ただ、啓真寮は自由度が高いとはいえ、共同生活の場なので、基本的なルールを守り、周囲の人の迷惑になるようなことはしないということが必要だと思います。共用部分は使ったらきちんときれいにする、ということもそうです。寮の

規則では寮生以外の人を泊められないというのは一人暮らしと違うところでしょうか。それと、留年したら退寮になってしまいます。

■ 共用ラウンジで勉強

普段勉強は、どちらかというと自室よりも共用部分ですることが多いです。一人だと部屋の中でいろいろ誘惑がありますが、共用部分のラウンジではほかの人の目があって、だらけずに勉強できるんです。それでも集中できないときは学校が近いので図書館に行くこともあります。部屋はリラックスできる場所になっていますね。寮生同士の交流もあり、この前は共用部分のスペースを使って女の子たちでたき火パーティーをしました。次は各自で作った得意料理を持ち寄ってお酒を飲む会などもやりたいです。

■ 寂しくない

寮のメリットはいろいろあります。常に誰かいるので、地震や停電があっても安心ですし、一人暮らしのような自由もありながら、でも寂しくない。そして何より寄宿料が安いことです。寮生のみなさんは先輩も後輩も、とても優しいです。寮ではたくさんの人がいる分、自然と友だちもできます。群馬大学の理工学部に合格して寮で会えるのを楽しみにしています。



学生サポート

学生支援センター

学生の個人的な問題に対する相談（修学相談・人生相談・生活相談など）に応じるため、「学生相談窓口」が学生センターと理工学部事務室にあります。また、助言を行うための全学的な機関として、荒牧地区（昭和地区含む）に学生相談室、理工学部学生相談室分室があります。

学費（2026年度入学）

学部	入学科	授業料（年額）	その他経費
共同教育学部	282,000 円	535,800 円	46,660 円
情報学部			49,660 円
医学部医学科			333,300 円
医学部保健学科			94,370 円
理工学部			89,560 円

入学料・授業料免除制度

国の高等教育の修学支援新制度により住民税非課税世帯およびそれに準じる世帯の学部生（外国人留学生を除く）に対して、日本学生支援機構の返還不要給付奨学生に採用された場合は、入学料・授業料が减免されます。

また、この制度の対象外となる学生（外国人留学生および大学院生等）に対しても、経済的理由によって納入が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合は、授業料等を减免する制度があります。

なお、納入期限までに授業料の納入が困難な場合、徴収猶予や月割の分納を認める制度もあります。

奨学金制度

群馬大学では、日本学生支援機構の奨学金をはじめ、地方公共団体や民間奨学団体などの各種奨学金を取り扱っています。奨学金制度には、返還が必要な貸与型（無利子・有利子）と返還が不要な給付型があります。いずれの奨学金制度も学業・人物が共に優秀であって、経済的に授業料等の支出が困難な学生が対象となります。

奨学金制度の詳細はこちらをご確認ください

●群馬大学ホームページ [奨学金案内]

https://www.gunma-u.ac.jp/studentlife/stu003/stu003_001



●よくある質問

<https://www.gunma-u.ac.jp/admission/g19675>



健康支援総合センター



健康支援総合センターは、学生の皆さんを、身体的・精神的にサポートする学内の保健機関です。「からだ」と「こころ」の健康相談、カウンセリング、応急処置、外部医療機関への紹介など、卒業するまでの健康管理に関する相談を受け付けています。



障害学生サポートルーム



障害学生サポートルームでは、さまざまな障害のある学生が、修学上、不利な立場におかれることのないよう学習環境を調整し、一人ひとりの学生がその個性と能力を発揮できるようにサポートを行います。

在学生からの学習や生活に関する相談、高校生等からの受験・入学後の支援に関する相談、障害などのある学生と関わる教職員の相談など幅広く対応しています。



キャリアサポート室



キャリアサポート室は、学生一人ひとりの適性にあった進路決定ができるよう就職活動の支援を行っています。具体的には、1年次より学年に応じて授業科目を履修し就業力の育成を行います。インターンシップにおいては、社会的に必要な能力や実践的な能力の育成、希望する企業等へのマッチングおよび申請支援、実施に関する事前説明会、実習講座ならびに実習後の在学生への体験報告会等を実施しています。学生一人ひとりの多様性（外国人留学生や障害のある学生等）に応じた就職支援の実施にも積極的に取り組んでいます。各企業からの求人票・会社案内、先輩方の就職活動報告書など、就職に関連する情報を集約した群馬大学のポータルサイト、群馬大学_進学・就職支援システムを運用しています。また、キャリアサポート室では、就職関連図書の貸出し・閲覧などができます。



海外留学・国際交流

海外派遣プログラム

海外短期研修(8日間～5週間程度)

英語研修、海外インターンシップ、現地大生との協働プロジェクト等、自分の留学目的に合わせた多様なプログラムに参加できます。

長期交換留学(1学期間～1年間)

群馬大学の海外の協定校に1学期間～1年間、留学できます。派遣先大学での授業料は免除されます(一部の大学を除く)。また、一定の基準に基づいて留学先で取得した単位が群馬大学の単位として認定されます。

群馬大学基金グローバルチャレンジプログラム

学生が自ら企画・実現する海外での交流・研修・研究その他の活動を支援する群馬大学独自のプログラムです。優れた計画に奨学金が支給されます。

●スウェーデン 《群馬大学基金グローバルチャレンジプログラム》

自分の興味を追求し、世界で学ぶ

性教育について理解を深めるため、スウェーデンでのフィールドワークを計画・実行しました。現地のユースクリニックや、幼稚園から大学までの教育機関を訪問し、“若者の性の健康を守る”教育や社会システムについて学びました。実際に現地を訪れたからこそ分かる、若者のリアルな声や情報を得ることができ、実際にやって学ぶことの大切さを実感しました。(医学部5年)



●アメリカ・サンディエゴ州立大学 《長期交換留学》

自身の当たり前前の刷新 日本は世界のマイノリティ？

留学で視野が広がったとか抽象的なことを言うつもりはない。アメリカは世界中から人が集まる。バイリンガルやいわゆる性的マイノリティの方と日常でよく出会う。自身の当たり前前に浸り、無意識に偏見を持ち、見当違いな質問や意見をしている姿は恥ずかしい。僕たちはまだ変わる、新たな当たり前を身につけるチャンスがここにある。今すぐ飛び出せ。(情報学部3年)



キャンパス内の国際交流

群馬大学は、国際教育の一環として、学生の言語力と国際的感性を養うことを目標に、荒牧、昭和、桐生の3キャンパスで国際交流の場として「カフェ(Café)」を提供しています。

English Café では学生たちは英語によるコミュニケーション、アカデミックプレゼンテーションのスキルを学んでいます。理工学、医学、教育学、情報学の学生が多く集まり、英語による活動はいつもとても人気で活発に行われています。

Chinese Café では学生たちは中国語を母国語とする留学生や教員と交流しながら、中国語や中華圏の文化を理解していきます。中国語は将来性のある第二外国語であり、学生たちは熱心に中国語の発音や会話練習に取り組んでいます。

Global Café は「国際理解講座」とも呼ばれ、国際社会の状況を踏まえ、日本の国内外で活躍する方々を招いて講演会を実施しています。講演のトピックは多岐に渡り、「世界とはどういう場所か」について一緒に考えます。また、日本人学生と留学生が交流し、それぞれの文化を紹介し、理解し合う、学生主体の活動もあります。



オープンキャンパス

OPEN
CAMPUS
2025



対象

高校生・保護者

会場

WEBと来校型のハイブリッド開催！



受験生応援サイト／WEB オープンキャンパス特設ページ

<https://www.gunma-u.ac.jp/prospective/> ※詳細は決まり次第、「受験生応援サイト」でお知らせします。

広報大使

群馬大学の在学生による広報チーム「学生広報大使」が、オープンキャンパスや進学相談会、広報誌、動画、SNSなどで群馬大学の魅力を在学生目線でPRしています。

学生広報大使特設サイトにて、活動内容を詳しく紹介しています。



学生広報大使
特設サイトはこちら！



部活・サークル

荒牧ジャズ研究会、演劇部テアトルヒューム、教育サークル青竹、クラシックギター部、国際交流サークル BEYOND、群馬大学混声合唱団、茶道部、写真部、書道部、作曲部、美術愛好会、群馬大学吹奏楽団、ディズニーサークル GuD、フィルハーモニックオーケストラ、フォークロック愛好会・音楽研究会、Voice Cream(アカベラ)、群馬大学 BBS会(ボランティア)、漫画研究部、LAMP(イベント企画団体)、かるた会、合気道部、アメリカンフットボール部、空手道部、弓道部、剣道部、フットサル部、柔道部、ゴルフ部、硬式テニス部、硬式野球部、軟式野球サークルアウィル、ハンドボール部、馬術部、バスケットボール部、バドミントン部、バレーボール部、B-STYLE(ストリートダンス)、ラグビー部、陸上競技部、ワンダーフォーゲル部、学生フォーミュラチーム、フィールドホッケー部、折紙研究会 Origin、サバイバルゲーム部、スキー部、ラクロス部、サッカー部、天文部、情報メカトロニクス研究部(ロボコン)、スマブラサークル、ボードゲームサークル、囲碁将棋部、FORS 国際医療ボランティアの会 など

他にもたくさん！
詳細はこちら



入試情報



入試情報はこちら
<https://www.gunma-u.ac.jp/admission>

群馬大学のさまざまな入試制度

群馬大学は、本学で学びたい学生に対し、その多様な能力を評価し選抜するために、多様な受験機会・入学試験を提供しています。本学の入学試験では、それぞれの学部・学科・課程の専門・特性に合わせて、大学入学共通テスト、個別学力検査、実技等試験、調査書、活動歴、面接、小論文等を組み合わせて、総合的に可否を判定します。

《 主な入試制度 》

総合型選抜

学校推薦型選抜

一般選抜

上記のほか、帰国生、留学生、社会人を対象とした選抜も実施しています。

詳細は、入学者選抜に関する要項及び各学生募集要項で必ず確認してください。

入学者選抜に関する要項※群馬大学で実施するすべての入試に関する基本的な事項について記載したものです。

学生募集要項※入試の基本的な事項に加え、出願書類の様式や出願方法についての説明も記載されています。

入試ごとに学生募集要項があるので、自分の受験する入試の要項を確認してください。

要 項 種 別	公表予定時期	要 項 種 別	公表予定時期
入学者選抜に関する要項	7 月	学校推薦型選抜学生募集要項	9 月
総合型選抜学生募集要項	7 月	帰国生徒選抜学生募集要項	9 月
私費外国人留学生選抜学生募集要項	9 月	一般選抜学生募集要項	9 月

群馬大学ホームページに詳細な入試情報を掲載しています。

 入試の主な変更点 入試の主な変更点を掲載しています。	 入試ガイダンス 入試の概要をまとめた資料を掲載しています。
 入試出願状況・実施状況 過去に実施した入試の志願倍率や合格者数等を掲載しています。	 過去の入試問題 過去に実施した入試の問題や解答例を掲載しています。小論文・面接については評価のポイントを掲載しています。
 実施日程 出願期間、学力試験等の日程を掲載しています。	 インターネット出願 群馬大学はすべての入試においてインターネット出願となっています。
 Q&A (受験生向け) 受験生からよくある質問と回答をまとめています。	 入試データ (統計資料) 志願者の都道府県別データ、一般選抜合格者の平均点、現浪の割合など、さまざまなデータを掲載しています。

受験生応援サイト



受験応援サイトはこちら
<https://www.gunma-u.ac.jp/prospective/>

大学・学部の概要や学生生活のリアルなど、受験生に必要な情報をたくさん掲載しています。ぜひご覧ください。



主な入試日程

	総合型選抜	学校推薦型選抜	一般選抜前期日程	一般選抜後期日程
共同教育学部	社会、数学、理科、技術、音楽専攻のみ実施 出願期間 9月上旬 選抜 9月下旬(技術専攻のみ11月下旬) 合格発表 11月上旬(技術専攻のみ2月中旬) ※技術専攻は大学入学共通テストを課す	出願期間 11月上旬 選抜 11月下旬 合格発表 12月上旬(数学専攻のみ2月中旬) ※数学専攻は大学入学共通テストを課す	出願期間 1月下旬～2月上旬 選抜 2月25日(水) 合格発表 3月上旬	
情報学部	【ITFL入試】 データサイエンスプログラム、計算機科学プログラムのみ実施 出願期間 未定 第1次選抜 未定 第2次選抜 未定 合格発表 未定	出願期間 11月上旬 選抜 11月下旬 合格発表 12月上旬	出願期間 1月下旬～2月上旬 選抜 2月25日(水) 合格発表 3月上旬	出願期間 1月下旬～2月上旬 選抜 3月12日(木) 合格発表 3月下旬
医学部 医学科		出願期間 11月上旬 選抜 11月下旬 合格発表 2月上旬 ※大学入学共通テストを課す	出願期間 1月下旬～2月上旬 選抜 2月25日(水)、26日(木) 合格発表 3月上旬	
医学部 保健学科		出願期間 11月上旬 選抜 11月下旬 合格発表 2月上旬 ※大学入学共通テストを課す	出願期間 1月下旬～2月上旬 選抜 2月25日(水)、26日(木)(※) 合格発表 3月上旬 ※看護学専攻は25日(水)、26日(木)に実施 他専攻は25日(水)に実施	出願期間 1月下旬～2月上旬 選抜 3月12日(木) 合格発表 3月下旬
理工学部	【専門学科・総合学科特別選抜】 出願期間 9月上旬 第1次選抜 9月下旬 第2次選抜 10月上旬 合格発表 11月上旬 【ITFL入試】 電子・機械類のみ実施 出願期間 未定 第1次選抜 未定 第2次選抜 未定 合格発表 未定	出願期間 11月上旬 選抜 11月下旬 合格発表 12月上旬	出願期間 1月下旬～2月上旬 選抜 2月25日(水) 合格発表 3月上旬	出願期間 1月下旬～2月上旬 選抜 3月12日(木) 合格発表 3月下旬

この他、帰国生選抜、社会人選抜、私費外国人留学生選抜、総合型選抜(外国人生徒等入試)があります。

※上記は2025年3月時点の情報で**変更の可能性**があります。

※必ず「2026年度入学者選抜に関する要項」および「2026年度学生募集要項」で**最新の情報を確認**してください。



国立大学法人

群馬大学

ホームページから請求する

入試資料・学部案内の請求方法

大学に訪問して受領する

各資料は、「テレメール」や「モパッちょ」を利用して、パソコン、スマートフォンから請求できます。
群馬大学ホームページ【入試情報＞資料請求】で請求方法を御確認ください。

[<https://www.gunma-u.ac.jp/>]

請求できる資料、料金(送料・手数料)、料金お支払い方法等は請求方法によって異なりますので、御注意ください。
なお、群馬大学への郵送による請求は、受け付けておりません。

来学いただいた方には、次の場所で直接お渡しします。

①荒牧キャンパス

アドミッションセンター (平日 8:30 ~ 17:15)

守 衛 所 (平日 17:15 ~ 8:30、土日・祝休日)

【お問合せ】

アドミッションセンター TEL 027-220-7154・7680

②昭和キャンパス

学務課入学試験係窓口 (平日 8:30 ~ 17:15)

【お問合せ】

昭和地区事務部学務課 TEL 027-220-8909・8910

③桐生キャンパス

1号館 1階 (平日 8:30 ~ 17:15)

守 衛 所 (平日 17:15 ~ 8:30、土日・祝休日)

【お問合せ】

理工学部入試・大学院係 TEL 0277-30-1037

※群馬大学は、インターネット出願を導入しているため、紙の募集要項の発行はしていません。出願される際には、本学Webサイトに掲載される募集要項を確認してください。



群馬大学公式HP



Instagram



X



YouTube



TikTok



LINE



Facebook

群馬大学に関するお問合せ アドミッションセンター

TEL : 027-220-7154・7680 E-mail : admissioncenter@ml.gunma-u.ac.jp

入試に関するお問合せ 学務部学生受入課

TEL : 027-220-7150・7151・7152 E-mail : g-admission@ml.gunma-u.ac.jp
〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4-2

